

# 妙安寺だより 471

10月になり、急に寒暖の差がはげしくなりました。体調管理には気をつけてお過ごしください。

10月8日に新潟の母方の伯父が亡くなり、11日・12日に執り行われたお通夜・葬儀に、母の代理で参列してきました。（宗派）は違いますが、日蓮宗のお葬式に参列する場合の格好（黒の無い衣に〈お盆まわりで使用する袈裟〉）で参列してきました。地域や宗派の違いがありますが、他宗の法要に出る機会はほとんど無いので、福岡の日蓮宗との違いの感想をしたいと思います。

宗派は浄土真宗大谷派でした。いわゆる家族葬の為か、祭壇はシンプルというか簡素なものでした。

お通夜のお勤めでは、参列者全員に導師から書物が配られ、「一緒に読んでくれ」という事でしたので、目を通すと、お経ではなく親鸞上人か蓮如上人の書物でした。それを抑揚をつけながら読まれ、木魚もなく鐘だけで進められました。亡くなった方への回向が無く、「あれっ？」と思っているうちに終わり、導師の法話が、お勤めと同じくらいの時間ありました。

翌日の葬儀・初七日では、引導（法号〈戒名〉授与）や回向はありました。しかし、短かったのも、よく聞いていないと、らないかもしれないくらいでした。

全体的な感想としては、鳴り物（鐘・木）が無い事で、厳かではあるが、寂しく淡々と進んでいった、という感じでした。

## 11月の予定

11月4日（土）午後2時より 勉強会

\*「地涌の声」(寺報に同封されている)の功德主を募集しています。

\*ゴミの分別にご協力ください。草(土を落とす)・花類・紙類はゴミバケツへお願いします。

\*11月1日より17時に閉門しますので、それまでにお参りください。閉門後も駐車場に駐車される場合は、一言お声かけください。不審車両と間違います。